

令和８年度 校長よりメッセージ『竜北生、Ｇｏ‼』（竜北生の皆さん・保護者の皆様へ 28）

心の数値を高める

校長　尾﨑　淳一

先週土曜日に、**『第３３回知立市新人戦大会』**を多くの種目で実施することができました。大雨が心配でしたが、軟式野球やソフトテニス個人戦など、今後に試合が予定されているもの以外は、全て無事に行うことができました。前も言ったとおり、私は竜北生の試合を**「目立つことなく物陰からそっと」**観戦するのが基本姿勢です。しかし、なぜか竜北生には通用せず、すぐに見つかってしまいます。不思議ですね。**「礼儀正しくお辞儀してくれる竜北生」「元気に挨拶してくれる竜北生」「フレンドリーに手を振ってくれる竜北生」「『竜北生、Ｇｏ‼』をおねだりしてくる竜北生」**……、全て、爽やかな**「自慢の竜北生」**です。夏の大会の応援は、**堂々と素顔で臨むか、厳重に変装するか**、迷い中です。






ところで、部活動の応援をしていると、５年程前の講演会で知った、興味深い**「計算式」**を思い出します。

Performance（結果を出す力・能力を発揮する力）＝心〔　〕×技〔　〕×体〔　〕

〔　〕の中には数値が入ります。この「計算式」の肝は、**「掛け算」**であることです。竜北生の皆さんも学習したように、〔　〕に一つマイナスの数値が入ると、答えはマイナスになるのです。もちろん、マイナスが二つの場合は結果的にプラスになりますが……。その講演の講師からは、**「本番だからと言って、技や体の数値が急激に下がることはない。結果が出ないとき、能力を発揮できないときは、心の数値が下がっているのです」**と説明がありました。この話を聞くと、つい数年前、私が中学３年生の頃の苦い記憶が甦ってきます。当時から**「ソフトテニスの王子様」**と言われていた私ですが、中学生最後の夏の大会では**３回も負け**を味わいました。刈谷・知立地区大会個人戦は同校ペア同士の決勝で、**油断して負けました**。西三河大会はベスト８進出を果たし、県大会出場が決まった後は、**気が抜けて負けました**。県大会は夜の夏祭りの約束が気になり、**全く集中できずに早々に負けました**。いずれも技と体の数値は下がらずとも、**私の心は０、もしくはマイナスの数値を指していた**のでしょう。心の数値が下がれば、**王子様**でも負けると知りました……。

受験でも部活動の大会でも、結果を出すには**心の数値を高めること**です。そのヒントとして、こんな言葉も聞きました。**「失敗した時やいらいらした時、自分に矢印を向けること」**……。そうです、周りの責任にして楽になるよりも、自分の見方や考え方を振り返り、それを修正して次へ生かすことが大切です。参考にしてくださいね。**「竜北生、Ｇｏ‼」**

新人戦大会では、保護者の皆様の応援のお蔭で、**竜北チーム**の健闘がきらりと光りました。来週から後期となりますが、暦の上では令和８年度の折り返しを迎えています。「体育大会」「文化祭」「５０周年記念式典」と続く行事における、**竜北生**の活躍をお楽しみに。

（令和８年１０月１日）